

2. 2013年度事業計画

●循環器学の研究及び振興を目的とする事業

①研究会・学術講演会の開催事業

1. 日本循環器学会年次学術集会

第78回日本循環器学会学術集会(JCS2014)

会期：2014年3月21日(金)～3月23日(日)

会長：永井 良三(自治医科大学学長)

会場：東京国際フォーラム，東京商工会議所，
JPタワー(東京都)

メインテーマ：

情報爆発とネットワーク時代の循環病学

Cardiology in the information era: from bench
to community

- (1) 一般演題(口述, ポスター, Featured Research Session)
- (2) 美甘レクチャー
- (3) 真下記念講演
- (4) 特別講演
- (5) 会長講演
- (6) プレナリーセッション
- (7) シンポジウム
- (8) 会長特別企画
- (9) ジョイントシンポジウム(AHA, ACC, ESC)
- (10) ラウンドテーブルディスカッション
- (11) トピック
- (12) コントロバーシー
- (13) ミート・ザ・エキスパート
- (14) モーニングレクチャー
- (15) Late Breaking Clinical Trials
- (16) 第42回循環器教育セッション
- (17) 日本心臓財団佐藤賞記念講演
- (18) 審査講演会
Young Investigator's Award審査講演
国際留学生YIA審査講演
第4回コメディカル賞審査講演会
- (19) ガイドラインに学ぶ
- (20) ガイドライン解説
- (21) 第10回心臓移植セミナー
- (22) 保険医療セミナー
- (23) 第4回海外留学生セミナー
- (24) 第13回医療安全・医療倫理に関する講演会
- (25) 第12回禁煙推進セミナー
- (26) 日本循環器学会蘇生科学シンポジウム
- (27) 第4回男女共同参画委員会セッション
- (28) Circulation Journal Award Session
- (29) チーム医療セッション
- (30) 市民公開講座
- (31) サテライトセミナー(ランチョンセミナー,
ファイアサイドセミナー): 会期中3日間
- (32) 機器・書籍展示

2. プレジストレーション

学術集会参加者向けに、参加登録、教育セッション、ランチョンセミナー・ファイアサイドセミナーのプレジストレーションについて、学会独自のシステム構築を行う。

3. 印刷物・製作物

第78回学術集会関連の印刷物・制作物として以下のものを製作する。

抄録CD、プログラム、電子抄録アプリ、教育セッションテキスト(循環器専門医Vol.21 Supplement 2014)、企業展示ガイドブック、ピンバッジ、英文パンフレット

4. My Abstracts

抄録CDに掲載されている演題および共催セミナー抄録を検索し、必要な演題の抄録だけを収録したオリジナル抄録集や日程表が作成できるサービスを行う。

5. トラベルグラント

海外からの演題採択者への補助として筆頭著者にトラベルグラントを支給する。支給金額は中国、香港、台湾、韓国は5万円、その他の国は10万円とする。

6. プレエントリー

学術集会発表スライドを会期前にWEBサイトで事前アップロードするための「プレエントリーシステム」を公開する。

7. 託児室

学術集会会期中に参加者に対して託児室を設置する。

8. 日本循環器学会ブースの出展

第78回学術集会の期間中、展示会場にて学会活動紹介のための日本循環器学会ブースを出展する。

9. 学会賞

以下の賞に関して、受賞者を決定する。

第39回日本心臓財団佐藤賞

第31回Young Investigator's Award

第12回国際留学生Young Investigator's Award

第22回CPIS賞

第9回心臓血管外科賞

第9回小児循環器賞

第8回循環器再生医科学賞

第7回女性研究者奨励賞

第3回循環器臨床研究奨励賞

第4回コメディカル賞

Circulation Journal Awards for Volume 77, 2013

日本心臓財団・日本循環器学会2013年「心臓」賞

10. 日本循環器学会地方学術集会

第109回北海道地方会

会期：2013年6月22日(土)
会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)
会長：東 信良(旭川医科大学循環・呼吸・腫瘍病態外科学)

第110回北海道地方会

会期：2013年11月23日(土)
会場：北海道大学学術交流会館(札幌市)
会長：岡本 洋(国立病院機構北海道医療センター)

第156回東北地方会

会期：2013年6月1日(土)
会場：岩手医科大学附属循環器医療センター(盛岡市)
会長：奥村 謙(弘前大学循環呼吸腎臓内科学)

第157回東北地方会

会期：2013年12月7日(土)
会場：仙台国際センター(仙台市)
会長：下川 宏明(東北大学循環器内科学)

第228回関東甲信越地方会

会期：2013年6月15日(土)
会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)
会長：石光 俊彦(獨協医科大学循環器内科)

第229回関東甲信越地方会

会期：2013年9月14日(土)
会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)
会長：西崎 光弘(横浜南共済病院循環器内科)

第230回関東甲信越地方会

会期：2013年12月7日(土)
会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)
会長：松本 万夫(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科)

第231回関東甲信越地方会

会期：2014年2月1日(土)
会場：東京ステーションコンファレンス(千代田区)
会長：山崎純一(東邦大学医療センター大森病院循環器内科)

第141回東海地方会

会期：2013年6月22日(土)
会場：ウインクあいち(愛知県産業労働センター)(愛知県名古屋市)
会長：天野 哲也(愛知医科大学循環器内科)

第126回北陸地方会

会期：2013年6月16日(日)
会場：金沢医科大学(石川県河北郡内灘町)
会長：森本 茂人(金沢医科大学高齢医学)

第142回東海・第127回北陸合同地方会

会期：2013年11月9日(土)・10日(日)
会場：金沢エクセルホテル東急(金沢市)
会長：芳村 直樹(富山大学呼吸・循環・総合外科)

第115回近畿地方会

会期：2013年6月15日(土)
会場：国立京都国際会館
会長：木村 剛(京都大学内科学講座)

第116回近畿地方会

会期：2013年11月30日(土)
会場：大阪国際交流センター
会長：増山 理(兵庫医科大学循環器内科)

第102回中国・四国合同地方会

会期 2013年5月10日(金), 11日(土)
会場 サンポートホール高松(高松市)
会長 坂東 重信(香川県立白鳥病院)

第103回中国地方会

会期：2013年10月26日(土)・27日(日)
会場：米子コンベンションセンター<Big Ship>(米子市)
会長：山本 一博(鳥取大学病態情報内科学)

第103回四国地方会

会期：2013年12月7日(土)
会場：あわぎんホール(徳島市)
会長：赤池 雅史(徳島大学医療教育学)

第114回九州地方会

会期：2013年6月29日(土)
会場：アクロス福岡(福岡市)
会長：土橋 卓也(独立行政機構国立病院機構九州医療センター高血圧内科)

第115回九州地方会

会期：2013年12月7日(土)
会場：佐賀マリトピア(佐賀市)
会長：森田 茂樹(佐賀大学胸部心臓血管外科)

②学会学術誌、学術論文集、その他出版物の刊行事業

1. Circulation Journal 刊行

英文誌Circulation Journal Vol.77 No.1~No.12を発行し、J-STAGEオンラインジャーナルとiPadにも掲載する。掲載内容は一般投稿論文に加え、依頼論文(Review Articles, Editorials, Guidelines)等である。

2. 国際編集会議

AHA開催期間中及び年次学術集会上に、Associate Editor, International Associate Editor, International Advisory Boardのメンバーを招待し、国際編集会議を開催する。

3. 会告刊行

会告2013 No.1～No.6を発行する。

4. 地方会抄録

地方会抄録オンライン検索システム「症例くん」に、開催された地方会のデータを登録する。

5. 循環器学用語の検討

循環器学用語の改定について、会員及び関係学会からの意見を踏まえて検討する。またICD-11作成作業は関係分野の学会と協力して実務作業を進める。

6. 学会ニュースメールの配信

会員向けに学会からのお知らせなどを掲載したニュースメール「JCS News Letter」を配信する。

③学術研究助成事業

1. 循環器疾患診療実態調査

全国の循環器科・心臓血管外科を標榜する約2,500施設に調査依頼を行い、施設概要、検査や治療の実施件数についてWeb上で調査(対象期間：2012年1月～12月の1年間)を行う。

2. 循環器疾患診療実態調査ワークショップ

2004年に始まった実態調査の問題点と意義をワークショップにて総括・吟味し、今後のあり方を提案する。

日時：2013年8月8日(木) 10:00～17:00

会場：東京・大手町サンケイプラザ

3. 学術研究班

1. 循環器病薬の血中濃度モニタリングに関するガイドライン
(日本循環器学会・日本TDM学会との2学会合同作成)
(班長：青沼 和隆, 志賀 剛)
2. 災害時循環器疾患の予防・管理に関するガイドライン
(日本循環器学会・日本高血圧学会・日本心臓病学会との3学会合同作成)
(班長：下川 宏明, 菊尾 七臣, 代田 浩之)
3. (冠動脈・不整脈を除く)カテーテルインターベンションのガイドライン
(班長：中西 敏雄)

4. ガイドライン作成

2011-2012年度活動の新規2班と2012年度活動の改

訂版6班のガイドラインについて、オリジナル版とダイジェスト版を作成し、『循環器病の診断と治療に関するガイドライン2013』として制作し、ホームページ上に公開する。また、第78回学術集会上に「ガイドライン解説」および「ガイドラインに学ぶ」セッションを開催する。

5. ガイドラインダイジェスト版の英訳化

既存のガイドラインのうち次の2班を英訳化してホームページに掲載する。

「心血管疾患におけるリハビリテーションに関するガイドライン」

「小児期心疾患における薬物療法ガイドライン」

6. ガイドラインダイジェスト版ポケット版作成

臨床現場での利便性を考慮し、ガイドラインダイジェスト版のポケットサイズ版を作成して第78回学術集会の期間中にセッション会場や日本循環器学会ブースで無料配布する。

7. Translational Research振興事業

臨床応用・実用化にある最先端の基礎的研究やtranslational researchについて、我が国の先進医学研究に寄与することを目的に、2件の研究支援助成を行う。

8. 大規模臨床試験の後援

我が国独自のエビデンスを構築するため新しい大規模臨床試験を計画し、あるいは医師主導型臨床試験を支援する。

- ・周産期心筋症(産褥心筋症)の発症に関する登録研究(PREACHER：主査 池田 智明)
- ・心筋梗塞患者に対するエポエチンベータ投与による心機能改善効果に関する研究-II (EPO-AMI-II：主査 小室 一成)
- ・急性心筋梗塞に対する治療の現状とその効果の実態調査(NCVC-AMI：主査 小川久雄)

9. 心原性ショックに関するレジストリ

蘇生科学小委員会を中心に、心原性ショックに関するレジストリの登録を推進し、2013年度末までに2万件のデータ集積を目標とし、データの収集および解析を行う。

10. 留学支援助成

学術集会の発展・医学研究の振興を願って、海外留学する循環器領域に著しい貢献が期待される若手研究者の経済的支援を目的に1件の留学支援助成を行う。

11. 国内交流に関する事業

他学会からの要請に応じて、随時、JCSとしての対応を検討する。また、引き続きICD-CRT研修制度

協議会での協議を継続する。

④国際交流事業

1. 国際交流事業

- ・海外学会へのブース出展
ESC・AHAへブース出展を行う。
- ・海外学会と共同シンポジウムの開催
- ・国際名誉会員
第78回学術集会にて国際名誉会員の表彰を行う。

●循環器医師の教育及び専門性の向上を目的とする事業

①循環器専門医事業

1. 専門医制度事業

- (1) 第24回循環器専門医資格認定試験を次のとおり行う。
会期：2013年8月25日(日)
東京会場：東京国際フォーラム(東京都千代田区)
大阪会場：梅田スカイビル(大阪市北区)
- (2) 循環器専門医資格の更新審査を行う。
- (3) 循環器専門医研修・研修関連施設の指定・更新審査を行う。
- (4) 『循環器専門医』は2冊、Vol.21 No.2とVol.22 No.1を発刊予定。

②循環器医師及びその他の医療関連従事者の教育・育成事業

1. 第9回循環器専門医を志す研修医のための卒後セミナーの開催

主に研修医を対象に、循環器学の面白さをレクチャー・グループ討論などを通じて伝えるセミナーを開催する。

2. 教育研修用DVDの製作・販売

第77回学術集会で開催された教育セッションをより多くの医師に視聴研修していただくことを目的に、教育セッションの内容を収録した「第41回循環器教育セッションDVD」の製作・販売を行う。

3. 教育研修用e-ラーニングシステムの構築

学会員の知識、技能の向上をはかることにより、国民の健康に資するため教育研修e-ラーニングシステムを構築する。

4. 学術集会DVD

第78回学術集会の講演内容を会期後に視聴研修していただくことを目的に、講演内容を収録したDVDを製作・販売する。

5. 心肺蘇生法普及活動

次の各講習会を全国で開催する。

- (1) AHA BLSヘルスケアプロバイダーコース

- (2) AHA ACLSプロバイダーコース

- (3) AHAハートセイバーAEDコース

また、インストラクター養成のため次の各講習会を開催する。

- (1) AHAコアインストラクターコース

- (2) AHA BLSインストラクターコース

- (3) AHA ACLSインストラクターコース

6. コメディカルセミナーの開催

2013年8月に、東京・大阪にて循環器系コメディカルスタッフへの教育・啓発を目的として、「循環器疾患の知識」をテーマとしたコメディカルセミナーを開催する。プログラムには、企業共催講演を含む。

7. 男女共同参画に関する事業

現状を把握し、今後検討すべき問題を明らかにして提言を行うため、男女共同参画委員会セッションおよびセミナーを開催する。

●循環器診療の社会への普及啓発及び社会還元を目的とする事業

①心臓移植等にかかる事業

1. 心臓移植に関する事業

- (1) 心臓移植に関連する協議会等と諸問題について協議し、必要な要望などを関係各所に提出する。
- (2) 心臓移植・心肺同時移植に関する適応検討を行う。
- (3) 心臓移植実施施設(成人・小児)の認定審査を引き続き関連の学会・研究会と行う。
- (4) 心臓移植適応検討申請数増加に対応するため、申請システムのメンテナンスを行う。
- (5) 学術集会会期中に医師及びコメディカル向けに移植医療の現状報告、将来への展望などについて心臓移植セミナーを開催する。

②社会への広報・啓発事業

1. プレスセミナーの開催

一般市民への啓発を目的として、プレスを対象としたセミナーを開催する。

2. 学術集会プレスカンファレンス

第78回学術集会の企画内容をプレス向けに説明する会合として、プレスカンファレンスを開催する。

3. 市民公開講座

第78回学術集会の会期中に、市民公開講座(会長企画)を開催する。

4. 禁煙市民公開講座の開催

第78回学術集会において第12回禁煙推進のための市民公開講座を開催する。

5. 心肺蘇生法市民公開講座の開催

第78回学術集会において一般市民を対象とした心肺蘇生法講習会を開催する。

6. 禁煙ポスターの増刷

禁煙指導のための教材として無料配布している禁煙ポスターの増刷を行う。

7. 禁煙ガイドブックの制作・販売

禁煙指導のための教材として使用する「禁煙ガイド Passport to Stop Smoking」の制作・販売を行う。

8. 禁煙啓発キャラクター「すわん君」ストラップの制作・配布

日本循環器学会の禁煙啓発キャラクター「すわん君」のストラップを制作し、学術集会や市民公開講座会場で配布し禁煙啓発を行う。

9. 職員用AHAハートセイバーAEDの開催

日本循環器学会事務局職員を対象としたAHAの心肺蘇生法コース、ハートセイバーAEDを開催する。

10. 診療報酬に関する調査

循環器分野における診療報酬の実態を調査するため、関連学会と協力して主にDPCの実態及び診療報酬改定後の影響について調査を行い、必要な要望等を関係各所に行う。

11. 医療安全に関する事業

循環器領域の医療安全の向上を目的として、本委員会内規にある業務内容に沿って業務を行う。

●その他この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 利益相反委員会

「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」の普及、実施を行う。臨床研究の利益相反に関する共通指針に基づく本学会細則の普及・実施を促し、学会員の意識向上を目指す。

2. 団体保険制度

本学会会員が有利な条件で加入出来るよう、勤務医師賠償責任保険及び総合補償保険について団体契約を結ぶ。

3. 事務局あり方検討委員会

事務局の東京全面移転について、引き続き検討を行う。また、事務局運営体制のさらなる改善を実行する。

4. 医道委員会

元会員の不正支出の問題に関連する民事裁判につい

て、しかるべく対応する。

5. 準会員制度運用に向けた準備

準会員制度の運用を2014年度から開始する予定である。運用に向け、プログラム構築や募集アナウンスを行う。

6. 第77回社員総会

第77回社員総会を2013年4月26日(金)に開催する。